



発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774代
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 (購読料郵税共) 年額8,000円



晴れの創立30周年

東青協盛大に記念式典・祝賀会

東京都管工事工業協同組合青年部長協議会(河野幸雄会長)は十一月十日、東京・港区の東京プリンスホテルで創立三十周年記念式典・祝賀会を盛大に開催した。行政関係者、東青協組の役員、二十四支部の支部長・支部員、商社・メーカー関係者など二百五十余名が出席し、首都・東京のライフライン確保の重要な一翼を担ってきた歴史と伝統を振り返った。晴れの節目を迎え、決意も新たに次代を担う若い力を結集し、さらなる飛躍・発展をめざす。

若い力で新たな飛躍を決意

東青協では創立三十周年にあたって記念事業実行委員会(三石高実行委員長)を設けて着実に準備を進めてきた。沿革や歴史役員、座談会などを盛り込んだ記念誌を作成



環境省 JCCM設備補助事業を促進

環境省 JCCM設備補助事業を促進

環境省は十一月七日、東京・内幸町のイイノホール&カンファレンスセンターで「JCCM設備補助事業シンポジウム2018」を開催した。二国間クレジット制度を通じた環境インフラのさらなる海外展開へ成果報告やパネルディスカッションを繰り広げた。

二国間クレジット制度(Joint Crediting Mechanism)は途上国へのすぐれた低炭素技術などの普及を通じて地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、日本の削減目標達成に活用している。今回のシンポジウムは百二十件の案件を実施してきたJCCM設備補助事業の実績を踏まえ、事業のさらなる拡大と政府が戦略的に取り組んでいる環境インフラの海外展開を加速



当日は関連企業・団体など約二百名が参加。小野洋同省大臣官房審議官(地球環境局担当)の開会あいさつに続いて永森一暢同省地球温暖化対策課市場メカニクス室長補佐が「JCCMに関する最新の取り組み状況」、反後暁公益財団法人地球環境センター(GEC)東京事務所事業第二グループ

し、当日の出席者に記念品とともに贈呈した。記念式典は上杉友梨実行委員の司会で進められた。三石実行委員長による開会の辞に続いて河野会長があいさつに立ち「これまで東青協を築き、支えてきた歴代の諸先輩方から感謝の意を伝えたい。東青協では結果を恐れず自由な発想で新しいチャレンジをすることができ、そこでの体験が得難い財産となっている。われわれと親会がお互いに理解し合い、尊重して良い関係にすることが組合の発展につながる」と確信している」と力強く述べ、一層の協力を要請した。

このあと事業功労者などを表彰。それぞれ東京都中小企業団体中央会会長感謝状と東青協組理事長感謝状が授与され、受賞者を代表して高柳茂宣元東青協会長が謝辞を述べた。

来賓あいさつでは佐藤章東管協組理事長、秋山

雅仁全国管工事工業協同組合連合会青年部協議会会長、戸島健雅東京都中小企業団体青年部協議会会長らが祝辞を述べた。佐藤理事長は「東青協は、組合活動の円滑な運営になくてはならない存在だ。管材店マップの作成やソフトボール大会への多くの参加など若い力あふれる活発な活動を今後も継続し、ライフラインを支える相互研鑽の場として気持ちも新たに頑張ってもらいたい」と激励し、杭本一也実行副委員長、祝賀会では森隆実行委員の司会で進められた。河野会長があいさつし、岡部清貴東管協組支部長協議会会長の首頭で一言に乾杯。三味線の演奏や抽選会など趣向を凝らしたアトラクションを交えて賑やかに歓談し、三石実行委員長、感謝の辞と島崎卓也実行副委員長の閉会あいさつで盛況のうちに幕を閉じた。

高効率を追求するテラル

テラルの新コンセプト「Triple e」による

キャビネット型加圧給水ポンプユニット

27% 省スペース

27%* 設置面積 業界最小!

ダウン(当社比) (2017年4月現在 当社調べ)

静音

省電力

優れた施工性

● 屋外設置可能 ● 充実の標準装備 ● 低振動 ● 安心・安全機能

Triple e シリーズ

テラル株式会社 本 社 / 〒720-0003 広島県福山市御幸町森脇230
 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
 www.teral.net 東京支社 / 〒112-0004 東京都文京区後楽2丁目3-27テラル後楽ビル6階

東京・大阪など 全国9支店、47営業所